令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市梅園学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字２丁目１２番地４
施設規模	敷地面積：２，３７７.７７㎡　　建物面積：３１４.４７㎡
指定管理者	名　称：岡崎市梅園学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字２丁目１２番地４ 代表者：委員代表　受川　定幸
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月３１日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年１１月２日 ２回目　令和８年２月１日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整をし、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

（階段の利用が無い図書室を広く使えるように、棚とロッカーを撤去移動したことで高齢の利用者が参加しやすく増員した。）

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
291	2,002	613	6,096	280	3,359						

利用合計	回数	人数
	1,184	11,457

（2）利用状況に対する自己評価

学区諸団体にはできる限り可能な時間帯での利用をお願いするとともに、予定の変更があり空いた場合は定期利用ができるよう連絡をとりあった。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	6,333
収入　計（A＋B）			804,333
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	681,430
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	100,751
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	22,152
支出　計（C＋D＋E）			804,333
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

年度初めに大きな修繕があり、来年度に回した箇所があった。来年度は細かな修繕を先にしたい。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

和室の高座椅子、会議室の折り畳み椅子のカートを購入したが、好評でよかった。
来年度は高座椅子を増やしたい。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情はなかった。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市根石学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市元欠町３丁目20番地
施設規模	敷地面積： 653.00㎡　　建物面積： 317.47㎡
指定管理者	名　称：岡崎市根石学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市元欠町３丁目20番地 代表者：委員代表　大島　一嗣
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和7年7月6日 2回目 令和8年2月8日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

根石学区民のコミュニティ活動と文化活動の推進を図る事ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
338	2639	592	6236	109	1049						

利用合計	回数	人数
	1039	9,924

（2）利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用者との連絡を密にし、利用時間調整に心掛けた。

利用スケジュールを玄関ボードに明記し空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	98,001
収入　計（A+B）			896,001
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	544,082
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	231,919
支出　計（C+D+E）			896,001
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理・消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。外回り手すり修繕を行なった。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

日常的な清掃に加え、ロッカーや押入れ・倉庫の整理清掃を行なった。

花壇の整備と外回りの草刈りを行なった。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

常に利用者とコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情ではないが、エアコンの故障報告にも迅速に答えることができた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市井田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字後田１９番地５
施設規模	敷地面積： 1,779.95㎡　　建物面積： 466.06㎡
指定管理者	名　称：岡崎市井田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字後田１９番地５ 代表者：委員代表　加藤　勝己
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	日常の見回り等により施設に異常がないか確認を実践した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。 外周の草取り、草刈、側溝の掃除実施した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　６月９日 ２回目　12月８日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

（利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け円滑な運営と管理が出来た。）

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
159	1,611	511	6,321	270	1,870	122	561	277	3,675	3	10

利用合計	回数	人数
	1,342	14,048

（2）利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施、使用日時の確認に加え日時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	16,870
収入　計（A+B）			909,870
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	757,935
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	151,134
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	801
支出　計（C+D+E）			909,870
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等、適切に費用を充て収支運営することが出来た。

三役会議で調整した上で適格な収支運営を心掛けた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、全員に呼びかけ、年末の大掃除を行った。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用者ノート、ご意見箱に記入投稿された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市愛宕学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市伊賀町５丁目121番地２
施設規模	敷地面積：624.52㎡　　建物面積：307.44㎡
指定管理者	名　称：岡崎市愛宕学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市伊賀町５丁目121番地２ 代表者：委員代表　水野　遥
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないよう確認をした。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、利用者が掃除を行った。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年６月24日 ２回目　令和８年１月22日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い、利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

（
・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑に運営管理ができた。
・老朽化した下駄箱の修繕を行うことができた。
）

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
104	1,155	394	6,117	233	1,517						

利用合計	回数	人数
	731	8,789

（2）利用状況に対する自己評価

・利用団体と使用日時の確認を行い、時間調整を実施し利用率の向上を図った。
・利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくし、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	26,900
収入　計（A＋B）			824,900
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	632,859
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	176,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	16,041
支出　計（C＋D＋E）			824,900
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・事務用品の購入など適切に充て収支運営をすることが出来た。
・修繕費は予定を超過したが、全体の支出を調整し収支の均衡を図ることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃をお願いした。
・手指消毒を設置し感染防止対策を心掛けた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者とコミュニケーションを図り、ニーズ把握に努めた。
・利用者がわかりやすいよう利用予定をボードに明記した。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・マナー違反の利用者には注意をして理解してもらえるようにした。
・苦情は無かったが、今後も利用者の意見に耳を傾け、管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市広幡学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市広幡町 11 番地 12
施設規模	敷地面積： 907.76 ㎡　　建物面積： 315.11 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市広幡学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市広幡町 11 番地 12 代表者：委員代表　峯澤　和巳
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和7年 7月27日 日曜日 2回目 〃 12月7日 〃
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
昨年辺りから要望の高かった畳の交換（表だけ）等を実施し、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
155	1223	519	5928	246	2098						

利用合計	回数	人数
	920	9249

（2）利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを図書室にマグネットタイプで明記し、空き状況を見やすくして利用率の向上を心掛けた。
・私のミスで1～2度Wブッキングをしてしまったので今後は気をつけていきたい。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入　計（A＋B）			798,000
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	677,958
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	42
支出　計（C＋D＋E）			798,000
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修繕・事務用品・清掃用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
・利用者から要望があった和室の畳交換を施し、快適に利用出来るように努めた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

別の仕事をしながらの為、出勤前の朝や夜遅くにしか作業や清掃が出来ず利用者の方と面と向かって話があまり出来ないので、時間を見つけてコミュニケーションを取っていくよう心掛けている。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者の皆様には使用後の清掃などに協力してもらっている。週2～3回は全体的に清掃をすることで清潔な環境を保てるよう努めている。

（3）苦情対応等に対する自己評価

運営委員長と情報を共有しながら、対応させていただいている。
施設内での苦情はほとんどなく、あるとすれば施設外（外装）なので、今後も迅速な対応を心掛けていきたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市連尺学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市魚町１丁目４番地
施設規模	敷地面積：1,001.58㎡　　建物面積：315.00㎡
指定管理者	名　称：岡崎市連尺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市魚町１丁目４番地 代表者：委員代表　齋藤　理彦
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により日常業務として施設に異常がないかチェックした
	通常清掃業務	トイレと玄関を中心に清掃に努め、常に清潔な常置を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類については期限内に提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	１回目　2025/9/25 ２回目　2026/2/23
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用申請団体と適切に利用調整を行い、平等利用と施設の利用効率向上に努めている
	書類・諸帳簿の管理	期限内に必要書類を提出し、適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の声を常に聞きながら安全安心な施設利用環境の実現に努め、円滑な運営と管理ができた

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
402	3,306	566	8,354	342	3,065						

利用合計	回数	人数
	1,310	14,725

（2）利用状況に対する自己評価

玄関ホールの案内用の黒板が古くて壊れてきたため、利用者から修理してとの声を聞き、新たに大型のホワイトボードを購入し、利用団体が自由に利用できるようにした。また利用者が提出する施設利用関係書類などを保管するケースを新品と交換するなど分かりやすく整理し、利用者サービスの向上に努めることができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798，000
	その他収入 (B)	雑収入	309，111
収入　計（A+B）			1，107，111
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	581，767
	修繕費 (D)	修繕費　※積算項目	146，421
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	378，923
支出　計（C+D+E）			1，107，111
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

管理費は、施設運営上必要な物品購入費用に適切に充当し、収支運営できている。修繕費は、1階和室の障子の張替、網戸の一部を新品と交換した。利用者から小会議室のブラインドが壊れているので直して欲しいとの追加要望があり、残った修繕費では2万6千円ほど足りなかったが、不足分を管理費より充当することにし、年度末までに間に合うよう業者に依頼し年度内に修繕を完了した。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が快適に気持ちよく利用できるよう管理者の日常点検を徹底し実施している。利用者にも利用後の適宜な清掃の実施を呼びかけし、清潔な利用環境づくりに取り組んでいる。1階女性トイレの紙つまりが連続して発生したため、貼り紙を作成し利用者に注意喚起した。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者からの希望・要望については常に耳を傾け、優先度や必要度を判断し対応してきたことで、特に問題はなかった。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情は特になかった。網戸修理などの利用者からの要望事項については今年度早々に対応した。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六名学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市六名南一丁目２番地１
施設規模	敷地面積： 1,162.88㎡　　建物面積： 485.35㎡
指定管理者	名　称：岡崎市六名学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市六名南一丁目２番地１ 代表者：委員代表　浅井　完治
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	定期的に見回り確認した
	通常清掃業務	消耗品を常備し清潔を保つよう心がけた
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練をした
	消防訓練実施日	１回目　令和７年10月２日 ２回目　令和８年３月２日
施設運営に関する業務	利用関係業務	常に利用状況を把握し、滞りなく利用してもらえるように努めた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者との連絡を心がけ、円滑な運営と管理ができた

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
5	45	363	3,822	52	353	139	939	194	2,399	162	1,546

利用合計	回数	人数
	915	9,104

（2）利用状況に対する自己評価

ホーム全体（特に玄関）を整理し、見やすく分かりやすい掲示に変えた。
どの団体が利用しているのかを分かりやすくし、利用のしやすさを改善した。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	186,521
収入　計（A＋B）			1,079,521
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	804,046
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	7,700
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	267,775
支出　計（C＋D＋E）			1,079,521
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

委員会共有のプリンターを設置し、必要時に速やかに印刷できることによい事務作業の効率化が計れた。その他適切に費用を充て、収支運営をすることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

連絡ノートを設置し利用者との連絡を密にすることで備品不足分や修理箇所などをすぐに把握することができた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者が交代で清掃をしていただいており、備品の不足分を速やかに補充したり、補修ができた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

連絡ノートに記入された内容を速やかに対処し、苦情とならないように心がけた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市三島学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市明大寺町字池上２８番地２
施設規模	敷地面積：　９３４．０２㎡　　建物面積：３２３．３０㎡
指定管理者	名　称：岡崎市三島学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市明大寺町字池上２８番地２ 代表者：委員代表　宮地　一郎
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、計画通りに消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　令和7年　7月　6日（日） 2回目　令和7年12月14日（日）
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
利用団体から次にやってほしいとの要望のあった和室の襖の張替えに着手し喜ばれた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
113	1194	459	4678	206	2252						

利用合計	回数	人数
	778	8124

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを各利用団体に確認してもらいやすくするために、月毎の利用予定表を１年分ホルダーに入れて玄関掲示板脇に吊り下げ、常に全体の予定が確認できるようにした。
館内の不調箇所の修理予定や、利用者への使用方法の改善依頼などを掲示板に掲示し、共通理解を図るようにした。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798，000
	その他収入 (B)	雑収入	82，626
収入　計（A＋B）			880，626
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	571，992
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	115，852
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	192，782
支出　計（C＋D＋E）			880，626
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営をすることができた。
・和室の襖の張替えに着手する。一般の規格と違うサイズであるため、3～4年がかりの取り組みになりそうなので、まず入口の6枚から実施した。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・施設や機器の適切な利用を促すために、わかりやすい取扱説明書を作成し、利用団体代表者会等を活用して共通理解を図った。
・運営委員会、利用者団体代表者会、6月・１２月の館内大掃除・消防訓練等の機会を生かし、利用上の留意点の周知徹底を図り成果を上げた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者ノート＝『学区の絆』を設置し、ニーズの把握を心掛けた。
・昨年和室の畳の表替えを行い足元がきれいになったら、襖の経年劣化が目立つようになり、次は襖の張替えを望む声が上がってきた。今後数年間かけて張替えをしていく予定でまず初年度分を実施し喜ばれた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・同一時間帯に複数の団体が利用するときに駐車場がいっぱいになり、入れられない、出られないというトラブルが後を絶たない。第二駐車場に回るとか、出し入れを考慮して詰めて駐車するなど、利用団体同士で譲り合うよう促している。
・共通の問題点は掲示板を活用し利用者全員に理解を促すよう心掛けている。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜美丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市竜美台１丁目５－２
施設規模	敷地面積：894.73㎡　　建物面積：310.32㎡
指定管理者	名　称：岡崎市竜美丘学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市竜美台１丁目 5-2 代表者：委員代表　鈴木聖也
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	毎日、施設の消灯・施錠と異常がないか確認した。
	通常清掃業務	施設内を有償清掃依頼し常に清潔な状態を保ち、消耗品の補充をした。
	防火管理	必要書類を提出し、利用者会議にて消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年７月１３日 ２回目　令和７年１０月２６日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用申請が多かったが適切な利用調整を行った。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応・近隣の要望にも対応し、収支状況を把握し円滑な運営と管理が出来た。利用者からの要望で、会議室スクリーンの取り換えが実施できた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
383	4357	721	7825	217	1787						

利用合計	回数	人数
	1321	13969

（2）利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記し空き状況をわかりやすくして、時間調整し利用向上を心がけた。
・各利用団体からのメールやＬＩＮＥには速やかに対応ができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	267,080
収入　計（A＋B）			1,065,080
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	691,080
	修繕費 (D)	修繕費　※積算項目	132,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	242,000
支出　計（C＋D＋E）			1,065,080
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・学区民からの要望で、会議室設置スクリーンの取り換えができた。
・利用者が多くなり日々の清掃を有償でお願いでき、・駐車場清掃などは学区在住者に適時依頼できた。
・支出が指定管理料を超過したが前年度繰越金から収支の均衡を図ることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、書面設置もして清潔な環境作りに務めた。
・館内のおもてなしに造花も季節ごとの花を設置できた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者ノートを設置して、ニーズ把握を心掛けた。
・電話・メール・ＬＩＮＥ等で緊急時も対応、コミュニケーションを図った

3）苦情対応等に対する自己評価

・利用者ノートに記入された内容については、速やかに対応した。
・マナー・ルール違反の利用者については、注意を行い、理解をしていただいた。

（※事業報告書と併せてご提出をお願いします。）

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市田口町字岩本１０番地１
施設規模	敷地面積： 639.73㎡　　建物面積： 227.01㎡
指定管理者	名　称：岡崎市常磐南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市田口町字岩本１０番地１ 代表者：委員代表　柴田　直昭
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見廻り等を実施し、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出した。
	消防訓練実施日	１回目　令和８年３月15日 ２回目　令和８年４月４日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支を把握し、円滑な運営管理をした。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
102	940	346	3,470								

利用合計	回数	人数
	448	4,410

（2）利用状況に対する自己評価

利用団体と打合せをし、使用日を調整して利用向上を行った。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	282,587
収入　計（A＋B）			1,033,587
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	706,162
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	100,903
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	226,522
支出　計（C＋D＋E）			1,033,587
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営をすることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう使用後の清掃を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズを把握した。

（3）苦情対応等に対する自己評価

マナーやルール違反の利用者に改善をお願いした。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐東学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市米河内町字松森８番地３
施設規模	敷地面積：９６９，９１㎡　　建物面積：２１８，３６㎡
指定管理者	名　称：岡崎市常磐東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市米河内町字松森８番地３ 代表者：委員代表　山本正道
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りにより施設に異常がないかの確認
	通常清掃業務	清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施
	消防訓練実施日	1回目　７月３日 2回目　11月５日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、施設の利用率が高まるように心がけた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望対応と状況の把握に心がけた

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
52	264	73	739								

利用合計	回数	人数
	125	1003

（2）利用状況に対する自己評価

・使用日時の確認把握に心がけ月間利用表を玄関ボードに明記し空き状況の開示
・各利用団体名と、開始時間を掲示して紹介している

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751，000
	その他収入 (B)	雑収入	61，790
収入　計（A＋B）			812，790
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	659，654
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	100，000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	53，136
支出　計（C＋D＋E）			812，790
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・南側外灯１基、和室１基LED化に進めた
・市民ホーム外回りの木、竹伐採作業を行った
・草刈りの面積が広く、応援協力をいただいて美化につとめた

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用前、使用後の確認と清潔な環境につとめた

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者メモを設置（ノートに変更して気づきノート、自由ノートに４月から置き換え）

（3）苦情対応等に対する自己評価

コミュニケーションをとって適正管理運営に心がけたい

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市滝町字南谷 34 番地
施設規模	敷地面積： 1,691.91 ㎡　　建物面積： 315.22 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市常磐学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市滝町字南谷 34 番地 代表者：委員代表　中根　守久
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

1　事業の実施状況

（1）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設の中・外周の見回り異常がないか確認している。
	通常清掃業務	清潔な状態を保ち、消耗品を常に補充している。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　令和 8年2月27日 2回目　令和 8年 3月24日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（2）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応、変更の時とどこおらないよう、円滑に運営と管理ができた。

2　施設の利用状況

（1）利用状況

和室		会議室一		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
167	1400	365	4184	19	136						

利用合計	回数	人数
	551	5720

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関前ボードに明記 空き状況をわかりやすくして利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入 利息分	716
収入　計（A+B）			798,716
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	591,717
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	27,500
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	179,499
支出　計（C+D+E）			798,716
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の軽用品など前、管理者が購入していただいたので 如明経費を使用しなく 支出にばらつきがあった。考えてしなくてはいけないと思いました。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、利用者とのコミュニケーションを密にして今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市羽根学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市羽根町字池脇 26 番地３
施設規模	敷地面積： 1,115.91 ㎡　　建物面積： 431.17 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市羽根学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市羽根町字池脇 26 番地３ 代表者：委員代表　杉浦　博
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月 31 日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	閉館施錠時に各部屋及びトイレ巡回、異常の有無を確認
	通常清掃業務	利用団体が当番制で階段・ロビー・廊下・トイレを清掃　消耗品の補充は管理人
	防火管理	全館禁煙　冷暖房はすべて電気系
	消防訓練実施日	本年度未実施　８年度は避難訓練を主として行いたい
施設運営に関する業務	利用関係業務	年度当初の申請を基に月ごとに予定表を作成・掲示　利用者ノート記入等による追加使用希望等にも弾力的に対応し、利用促進に努めている。
	書類・諸帳簿の管理	市民ホーム利用簿を集計し、利用状況報告書を作成、提出 コピー機利用簿と共々、適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

計画的な運営ができず、個別対応に終始した。設備面で良くなった所女子トイレの水詰まり解消
蛍光灯のLED化　研修室のエアコン取替　北側駐車場の整地

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
242	2,426	524	7,178	144	1,296	142	1,482			224	1,161

利用合計	回数	人数
	1,276	13,543

（2）利用状況に対する自己評価

利用希望には前向きに対応した。
特に児童育成センターの希望にはできる限り応じてきた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	72,795
収入　計（A＋B）			965,795
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	588,640
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	126,500
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	250,655
支出　計（C＋D＋E）			965,795
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

剰余金が過大にならにようにカーテン等の設備更新計画の立案を急ぎたい。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

公平性の担保が課題となる。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートへの回答は最速で行っている。基本は当日夜

（3）苦情対応等に対する自己評価

2F 会議室の蛍光灯に関する苦情は LED 化の予定があるということで回答できた。
研修室のエアコン不調と北側駐車場の穴の件では年度末近くにかかわらず市の担当課の方の尽力で早期に解決でき、大いに感謝しています。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市小豆坂学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市戸崎町字藤狭１３番地１６
施設規模	敷地面積：1,549.41㎡　　建物面積：319.50㎡
指定管理者	名　称：岡崎市小豆坂学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市戸崎町字藤狭１３番地１６ 代表者：委員代表　山本　幹彦
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和8年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち　消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し　新設の避難はしごによる実地を含む　消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目　令和7年　4月17日 2回目　令和7年10月15日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い　施設の利用率が高まるように心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し　適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け
円滑な運営と管理が出来た

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
136	773	453	4,128	214	1,697						

利用合計	回数	人数
	803	6,598

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記
空き状況を分りやすくして　利用率の向上を心掛けた

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	28,755
収入　計（A＋B）			826,755
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	685,155
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	82,692
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	58,908
支出　計（C＋D＋E）			826,755
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修繕　事務用品・消耗品の購入等に適切に費用を充て
収支運営することが出来た

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の皆様が気持ちよく利用できるよう　使用後の適宜な
清掃への協力を呼びかけ　清潔な環境づくりに努めた

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り　ニーズ把握に心掛けた

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用ノート　ご意見箱に記入　投稿された意見には
改善できる範囲において速やかに対応した

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市城南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市城南町一丁目５番地３
施設規模	敷地面積： 943.99㎡　　建物面積： 315.23㎡
指定管理者	名　称：岡崎市城南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市城南町一丁目５番地３ 代表者：委員代表　殿井　潔香
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	必要品を適切に補充し清潔な状態を保った。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和7年4月13日 ２回目　令和7年11月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用方法を行い、多くの皆さんに利用してもらうよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に管理している。

（２）事業実施に対する自己評価

○利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、問題なくできた。
○利用者が使用部屋を重複しない年間予定表を作成し管理した。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
288	2462	433	7487	115	781						

利用合計	回数	人数
	836	10,730

（2）利用状況に対する自己評価

・運営委員会と利用団体代表者の会議を行い、重なる事などより清掃等の協力をおねがい出来た。

・連絡帳、黒板を活用し利用率の向上、促進に心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入 利息	50809
収入　計（A＋B）			848809
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	618072
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	155770
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	74967
支出　計（C＋D＋E）			848809
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設の修理、必要品の購入に適切に費用を充て収支運営ができた。

・今年度は除草対応に充てる事が出来た。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・使用後の清掃への呼びかけ、環境作りに努めた。

・連絡ノートを用いてニーズ把握に心掛けた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用団体との連絡をそのつど行いニーズに心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・マナー、ルール違反の利用者に注意を行い理解していただいた。

・必要に応じ文書等で注意を行い管理運営に心掛けた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岡崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市針崎町字フロ１番地２
施設規模	敷地面積： 2,115.73㎡　　建物面積： 315.43㎡
指定管理者	名　称：岡崎市岡崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市針崎町字フロ１番地２ 代表者：委員代表　加藤　政幸
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目 令和７年11月16日 ２回目 令和８年 3月 7日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
138	1545	316	4441	144	888	0	0	0	0	0	0

利用合計	回数	人数
	598	6874

（2）利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記。
空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	107,016
収入　計（A＋B）			905,016
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	604,405
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	128,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	172,611
支出　計（C＋D＋E）			905,016
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て
収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、苦情対応を行った。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市　福　岡　学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市　福岡町字西市仲４１番地
施設規模	敷地面積：1,41241 ㎡　　建物面積：385,06 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市　福　岡　学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市福岡町字西市仲４１番地 代表者：委員代表　大河内　廣之
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見守り等による施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を、保ち消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　令和７年７月６日 2回目　令和7年10月5日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要な書類を、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
93	863	552	6935	210	1273						

利用合計	回数	人数
	855	9071

（2）利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体と連絡調整を図り、利用効率の向上に心がけることができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	88
収入　計（A＋B）			798,088
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	676,774
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1,314
支出　計（C＋D＋E）			798,088
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に費用を充て収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

施設や機器の利用に関して、わかりやすく記した書面を作成した。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用ノート、ご意見箱を設置して、ニーズ把握を心掛けた。

利用団体との会議をして、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用者のノート、ご意見箱に記・投稿された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

マナー、ルール違反の利用者にその場で理解していただいた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市上地学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市上地三丁目32番地１
施設規模	敷地面積： 1,129.67㎡　　建物面積： 314.58㎡
指定管理者	名　称：岡崎市上地学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市上地三丁目32番地１ 代表者：委員代表　杉浦　正司
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容		実施内容
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清掃に心掛けた。 特にトイレ清掃は、利用団体に定期的にお願いした。
	防火管理	必要書類を提出して 消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　R7年7月3日 2回目　R7年12月18日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行なった。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出して、保管している

（２）事業実施に対する自己評価

（ ・利用者の要望等の対応しながら 円滑な運営ができた。 ）

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
193	1,270	465	5,487	296	2,265						

利用合計	回数	人数
	954	9,022

（2）利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールをホワイトボードに明記して空き状況をわかりやすくした。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	118
収入　計（A+B）			798,118
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	677,368
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,750
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	
支出　計（C+D+E）			798,118
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品等、適切に費用を充て収支運営できた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう、清掃への協力等お願いした。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者とコミュニケーションを図りニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

現在苦情はないが、その都度連絡があったら対応して管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市男川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大平町字西上野 84 番地２
施設規模	敷地面積： 573.73 ㎡　　建物面積： 312.48 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市男川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大平町字西上野 84 番地２ 代表者：委員代表　小林　勇
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月 31 日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和7年11月22日 2回目 令和8年1月29日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
96	1025	346	4495	214	1455						

利用合計	回数	人数
	656	6975

（2）利用状況に対する自己評価

使用目時の確認に加え、時間調整も実施して 利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	1001295
収入　計（A+B）			1799,295
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	407090
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	105600
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	1286605
支出　計（C+D+E）			1799,295
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て 収支運営おこなうことができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションをはかり　ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い　理解していただいた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市美合学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岡町字上御給 48 番地
施設規模	敷地面積： 1,200.00 ㎡　　建物面積： 314.89 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市美合学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岡町字上御給 48 番地 代表者：委員代表　水谷　守男
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年５月８日 ２回目　令和７年12月13日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
18	196	329	4,600	161	1,466						

利用合計	回数	人数
	508	6,262

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュール表を玄関ボードに掲示し、空き状況をわかりやすくして利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	175,195
収入　計（A＋B）			973,195
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	678,868
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	174,327
支出　計（C＋D＋E）			973,195
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃への協力を呼びかけ清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用者からの要望、ご意見などに改善できる範囲において速やかに対応した。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市緑丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市美合町字ハケ尻３２番地
施設規模	敷地面積：　６４３.２０㎡　　建物面積：　３２３.８１㎡
指定管理者	名　称：岡崎市緑丘学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市美合町字ハケ尻３２番地 代表者：委員代表　岡田　明
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態に保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年７月１２日 ２回目　令和７年１２月７日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
・利用者からの要望の強かった網戸の修繕等を実施し、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
81	578	518	4,704	270	1,539						

利用合計	回数	人数
	869	6,821

（2）利用状況に対する自己評価

・利用団体との定期会議を実施し、施設の適切な利用をお願いし、建物管理運営に心掛けた。
・細かな規則にとらわれず、利用できる団体にはどんどん利用していただき、利用率の向上を心掛けた。
・一部利用団体の活動内容を掲示板で紹介し、利用促進 PR を行うことができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798，000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入　計（A+B）			798，000
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	589，800
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	208，200
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	0
支出　計（C+D+E）			798，000
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・懸案の網戸修繕やカーテンの修繕を実施した為、予定修繕費を超過した。

・施設利用者の利便性を重視したが、予算内で実施できた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
・トイレ当番表を作成して、利用者団体による月２回のトイレ清掃を実施し、清潔な環境づくりに努めた。特にトイレの尿石防止にも取り組んだ。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者団体との年２回の利用者会議の開催や日々の連絡メモを通して、ニーズ把握を心掛け対応できた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・利用者会議の開催や日々の連絡メモを通して、苦情対応を行った。
・苦情内容で、注意喚起する必要のあることは館内に掲示し周知した。

（※事業報告書と併せてご提出をお願いします。）

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市生平学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市茅原沢町字上平６番地１
施設規模	敷地面積： 719.03㎡　　建物面積： 315.46㎡
指定管理者	名　称：岡崎市生平学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市茅原沢町字上平６番地１ 代表者：委員代表　蒲野　富志雄
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、防火管理を行った。
	消防訓練実施日	１回目　令和８年３月２日　1666-3591-4936-0661621 ２回目　令和８年３月30日　6077-9322-2271-6528624
施設運営に関する業務	利用関係業務	施設の利用率を高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

節電ために２F 蛍光灯 LED に変える工事ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
77	1,000	90	623	199	862						

利用合計	回数	人数
	366	2,485

（2）利用状況に対する自己評価

利用状況をわかりやすくホワイトボードに明記した。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	117,341
収入　計（A＋B）			915,341
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	678,931
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	146,300
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	90,110
支出　計（C＋D＋E）			915,341
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

2F 蛍光灯を LED 化することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

清潔な環境づくり、外構の剪定、草刈りなど定期的に行えた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者の方と積極的にコミュニケーションを図った。

（3）苦情対応等に対する自己評価

ほとんどの時間帯、利用者さんが重なることなく平和であるため、飛び入りの利用者があると不安に思うらしい。（カラオケなどの音）丁寧に何度も説明している。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市秦梨学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市秦梨町字平 39 番地２
施設規模	敷地面積： 862.00㎡　　建物面積： 218.17㎡
指定管理者	名　称：岡崎市秦梨学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市秦梨町字平 39 番地２ 代表者：委員代表　倉橋　敏美
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充しました。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施しました。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年７月４日 ２回目　令和７年10月５日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い施設の利用率が高まる様に心掛けました。
	書類・諸帳簿の管理	必要な書類を提出し、適切に保管しています。

（２）事業実施に対する自己評価

令和６年度までシルバーさん共々外庭の手入れをしていましたが、令和７年度はなぜか協力がなく、私一人で外庭の草取り、清掃を行いました。自分の思う様に掃除でき、終了した時はとても気持ちが良かったです。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
74	331	216	2,190	14	79						

利用合計	回数	人数
	304	2,600

（2）利用状況に対する自己評価

・運営委員会と社教委員会が同一メンバーのですので、年２回の会議を行っています。
あとの団体とは会議等はありません。
・利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくしました。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	1,976
収入　計（A＋B）			752,976
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	542,188
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	205,900
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	4,888
支出　計（C＋D＋E）			752,976
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

トイレ清掃、会議室清掃が主な主点にしていましたので清掃用品が主な出費でした。
利用者が大切に使用してくれていたので余計な出費が発生しませんでした。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

寄贈図書を募集しています。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

父兄同伴ならば幼児、小学生にも開放しています。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情はありません。

令和７年度　事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜谷学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桑谷町字１斗目６番地１
施設の規模	敷地面積 :1582.21㎡　　建物面積 :215.38 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市竜谷学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市桑谷町字一斗目６番地１ 代表者：委員代表　山本　英昭
指定期間	令和 ３ 年 ４ 月 １日　～　令和 ８ 年 ３ 月 31 日

１　事業の実施状況

（１）実施状況

業務期間　：　令和7年4月1日～令和8年3月31日

実施事業名	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。 利用者の意見を生かして施設の改善を行った。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。 また、適宜草刈り等を行うことにより、周囲環境整備を行った。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。その際には、地域の防災訓練との連携を図ることにより行った。
	消防訓練実施日	１回目　　９月 24 日 ２回目　　12 月 25 日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者からの要望により、道路脇の樹木の剪定を行った。また玄関出入り口の鍵を新規交換し、和室の襖張替え修繕工事を部分的に実施する等活動環境を整え、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
66	675	152	1569	275	508						

利用合計	回数	人数
	493	2752

（２）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかり易くして、利用率の向上を図り、また、地域の活動団体との連携を心がけた。

3　収支状況

（１）収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入(A)		751,000
	その他収入(B)	雑収入	14,786
収入　計　（A+B）			765,786
支出	管理運営費(C)	人件費、管理費	582,625
	修繕費(D)	修繕費　※清算項目	162,800
	その他(E)	修繕費返還金、当期剰余金等	20,361
支出　計　（C+D+E）			765,786
差　引			0

（２）収支状況に対する自己評価

本年度は玄関出入り口の鍵を新規交換し、また和室の襖張替え修繕工事を部分的に行ったが、管理費を節約するなど、工夫することによって収支の均衡をはかることができた。

4　その他自己評価

（１）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（２）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体の一員として活動を行い、参加者から直接意見を聞きつつニーズ把握を心がけた。

（３）苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市藤川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市藤川台三丁目１番８号
施設規模	敷地面積：1,578.10 ㎡　　建物面積：325、47㎡
指定管理者	名　称：岡崎市藤川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市藤川台三丁目１番８号 代表者：委員代表　生田　和好
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 11 月 16 日 2回目 11 月 23 日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望に対して収支状況の把握を心掛け円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
102	549	121	1359	116	887						

利用合計	回数	人数
	339	2795

（２）利用状況に対する自己評価

年間予定表を設置して、利用者の日程が把握しやすくなり利用者からも喜ばれた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	493,621
収入　計（A＋B）			1,291,621
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	265,660
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	546,700
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	479,261
支出　計（C＋D＋E）			1,291,621
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

本年度は前年度施設の北側の樹木を伐採した後の抜根と整地で不陸整正と砕石敷で駐車場を整備することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

コピー機や清掃道具等についてわかりやすく記した書面を作成した。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者のご意見を聞き、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

改善できる範囲において速やかに対応できた。

令和7年度事業報告書

施設名称	岡崎市　山中学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市山綱町字天神2番地1
施設規模	敷地面積　：　877、08㎡ 建物面積　：　315、77㎡
指定管理者	名　称　：　岡崎市山中学区市民ホーム運営委員会 所在地　：　岡崎市山綱町字天神2番地1 代表者　：　委員代表　明保　芳和
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1　事業の実施状況

(1)実施状況　　業務期間　：　令和7年4月1日～令和8年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	防災訓練日	1回目　令和7年 5月11日 2回目　令和7年11月 2日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2)事業実施に対する自己評価

・ 前年度に対し、利用団体数は2団体増加し利用回数・利用者数も共に増加し市民ホームとしての役割を高めている。

2　施設の利用状況

(1)　利用状況

和　室		会議室		図書室		和室2		研究室(大)		研究室(小)	
回　数	人数	回　数	人数	回　数	人数						
67	1,032	404	5,990	128	1,053						

利用合計	回　数	人　数
	599	8,075

(2) 利用状況に対する自己評価

・ 運営委員会と利用団体との会議を実施して、使用日時の確認に加え、時間調整も実施して利用率の向上を心掛けた。
・ 利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況を分かりやすくして、施設の利用率向上に心がけました。
・ 各利用団体の活動内容を掲示板で紹介。利用促進に係るPRを行うことができた。

3 収支状況

(1)収支状況

	項　　目	内　　訳	決算額(円)
収入	指定管理料 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	727,662
収入計 (A＋B)			1,525,662
支出	管理運営費(C)	人件費、管理費	438,503
	修繕費(D)	修繕費　※精査項目	109,054
	その他(E)	修繕費返還金、当期剰余金等	978,105
支出計 (C＋D＋E)			1,525,662
差引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・ 消耗品の購入については、適切に費用を充て収支運営することができた。
・ 本年度施設の修繕費の利用が少なかったが、来年度は利用枠を有効に使えるようにしていきたい。。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・ 利用者の皆様が気持ちよく利用できるよう、利用後の適宜な清掃を呼びかけ、清潔な環境づくりに務めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・ 利用者ノートを利用して、ニーズ把握に心掛けた。
・ 利用者とコミュニケーションを図り、ニーズ把握に心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・ マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。
・ 利用者団体との会議を開催して、苦情対応を行った。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市本宿学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市本宿町字古新田１１番１
施設規模	敷地面積：1,354.89㎡　　建物面積：445.91㎡
指定管理者	名　称：岡崎市　本宿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市本宿町字古新田１１番地１ 代表者：委員代表　　富田　哲也
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　10月26日 ２回目　１月22日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調節を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類は提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営と管理ができた
感染防止の観点から各部屋ごとに消毒セットを置き、こまめな消毒ができるよう努めた

２　施設の利用状況

（１）利用状況　　'２月末現在

和室１		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
126	919	420	4030	365	1188	55	324	438	4773	—	—

	回数	人数
利用合計	1,404回	11,234人

（2）利用状況に対する自己評価

事務局としてもドア、手すり等の消毒をこまめに実施し感染防止に努めた。
長期利用スケジュールを廊下のボードに貼り毎日確認し、空き状況を分かりやすくして利用率の向上を図ることができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	68,424
収入　計（A＋B）			961,424
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	807,963
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	72,020
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	81,441
支出　計（C＋D＋E）			961,424
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修繕、事務用品等の購入に適切に費用を充て収支運営することができた。
まだまだ、コロナやインフルエンザの感染防止の観点から消毒液の購入や消毒用の雑巾の洗濯費用が増加傾向にあったが、他の収支内容を精査し収支の均衡を図ることができた。今年度はミラーの要望があり、許可を頂き購入が出来た、喜ばれている。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

鍵カバンを定位置化とし、入り口にフックで定着を図り、利用の明確化と教室への顔出しがなくなった。２年目過ぎ、利用者の皆さんが気持よく利用できるようになった。
毎日室内外の清掃に努め清潔な環境づくりに努力した

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

今年も利用者の代表による一斉清掃を実施し、利用後の清掃の呼びかけができた。
高齢者の増加により玄関の階段には手すりを設置し、上り降りの安全に務めた。
利用者の中でスポーツミラーの要望があり、今年度購入が出来設置が出来た、体操やダンスなどの利用に喜ばれています。

（3）苦情対応等に対する自己評価

年度末の３月に全利用団体の登録と年間利用日の計画を提出してもらい、月ごとに一年分貼りだし利用日ダブりの防止、目で見る管理をし間違いのない利用を徹底した。不定期利用や電話対応にも、すぐ対応ができる。苦情はあまり聞いていませんが、要望はできる限り対応している。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市恵田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市恵田町字三月ケ入７６番地１
施設規模	敷地面積：1,680.11㎡　　建物面積：222.11㎡
指定管理者	名　称：岡崎市恵田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市恵田町字三月ケ入７６番地１ 代表者：委員代表　梅原 寿夫
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設保守点検を行い異常の無いことを確認した
	通常清掃業務	屋内外の清掃整理を行い利用しやすい状態を保った
	防火管理	消防計画に沿い火器の点検
	消防訓練実施日	１回目：令和７年7月１０日 ２回目：令和7年１１月２９日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	正しく作成し適切に管理している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者が気持ち良く利用できるよう屋内外の清掃、草刈り、花壇づくりなどにも心掛け管理の充実を図った

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
18	175	68	1,074	48	108	-	-	-	-	-	-

利用合計	回数	人数
	134	1，357

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関黒板に記入し、使用予定、空き状況を明確化して、利用率の向上に努めた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)	管理費	751，000
	その他収入 (B)	雑収入	1，255
収入　計（A+B）			752，255
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	608，781
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	101，300
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	42，174
支出　計（C+D+E）			752，255
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の清掃資材購入、清掃モップのリース代等適切に支出を行い、収支を管理した。本年度修繕項目として、網戸の網交換とプロジェクタースクリーンを交換し、利用者に不便をかけないよう適切に修繕費を活用した。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

施設内外の清潔、使い勝手を維持向上させる為、精一杯清掃や草刈りなどに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者に積極的に声掛けを行い、利用者の要望や至らない点が無いかなどの確認を行った。

（3）苦情対応等に対する自己評価

特に苦情等は無かったと理解しているが、利用者に迷惑を掛けていないか？などを運営委員会のメンバーに問い掛けたりした

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岩津学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岩津町字生平１番地１
施設規模	敷地面積： 1,609.93㎡　　建物面積： 315.00㎡
指定管理者	名　称：岡崎市岩津学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岩津町字生平１番地１ 代表者：委員代表　近藤　和也
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和８年２月21日 ２回目　令和８年３月９日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
191	1,279	512	7,190	252	1,687						

利用合計	回数	人数
	955	10,156

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	370
収入　計（A＋B）			798,370
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	634,795
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	163,575
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	0
支出　計（C＋D＋E）			798,370
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者のみなさんが気持ちよく利用できるよう使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

マナー・ルール違反の利用者に、その場で注意を行い、理解をしていただいた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大樹寺学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18
施設規模	敷地面積： 436.41 ㎡　　建物面積： 306.39 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市大樹寺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18 代表者：委員代表　浅井　誠司
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	室内を見回り、異常の有無を確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し防災訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年５月18日（日） ２回目　令和７年11月23日（日）
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用者会議を行い、問題点の改善や正しく利用して貰うよう最周知した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に管理・保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者会議において利用者の意見を聞き改善する事でより良い環境で活動できる施設管理を行えた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
70	1,101	585	8,119	157	1,742						

利用合計	回数	人数
	812	10,962

（2）利用状況に対する自己評価

・年２回利用者会議を開催し利用者の要望を吸い上げ改善をした。

3　収支状況

（1）収支状況

	項 目	内　訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	79,745
収入　計（A＋B）			877,745
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	661,323
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	120,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	96,422
支出　計（C＋D＋E）			877,745
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

事前に事務用品予算額を頂き、利用者が困らない様に必要な物を買い足した。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

トイレに手を拭くペーパーとゴミ入れを設置
各会議室に空気清浄機を設置

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

必要なニーズに対応できた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情は特になし。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大門学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大門四丁目７番地15
施設規模	敷地面積： 763.11㎡　　建物面積： 316.63㎡
指定管理者	名　称：岡崎市大門学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大門四丁目７番地15 代表者：委員代表　天野　正和
指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日

1　事業の実施状況

（1）実施状況　　業務期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	適宜見回り、蛍光灯の切れをすみやかに取替え
	通常清掃業務	適宜各室・トイレ・廊下・階段・庭掃除して消耗品の補充をした
	防火管理	利用頻度の少ないガスを閉栓し、利用者に周知徹底し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　9月16日 2回目　12月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	借用願提出された時点で利用予定表に記入し調整を図った。
	書類・諸帳簿の管理	提出書類はコピーを取り適切に保管している。

（2）事業実施に対する自己評価

（和室のフスマ、障子の黄ばみ、異ずみ有り、張り替えを行い、気持ち良く利用してもらえる様になった。）

2　施設の利用状況

（1）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
164	2086	308	5618	261	2167						

利用合計	回数	人数
	733	9871

（2）利用状況に対する自己評価

・利用団体への使用日時の調整を実施して利用率の向上を心掛けた
・利用スケジュールをボードに明記空き状況をわかりやすくして
利用率の向上を心掛けた

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	250,628.
収入　計（A＋B）			1048.628.
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	718.879.
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	256.080.
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	73.669.
支出　計（C＋D＋E）			1.048.628.
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・消耗品・事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営する事が出来た
・フスマ障子の張り替えを実施して修繕費を超過したが、他の勘内容を精査する事により収支の均衡を図ることが出来た。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・施設や器具の利用に関して、わかりやすく記した書面を作成した
・利用者が気持ちよく利用できるように常に清潔な環境作りに務めた

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた

（3）苦情対応等に対する自己評価

・今のところ苦情は無いが利用者とのコミュニケーションを図り適正な管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市奥殿学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市奥殿町字石飛６１番地２
施設規模	敷地面積： 1,610.81 ㎡　　建物面積： 218.69 ㎡
指定管理者	名　称：岡崎市奥殿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市奥殿町字石飛６１番地２ 代表者：委員代表　清水　篤実
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月３１日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	定期的に施設の内外の見回りをして、以上の有無を点検した。
	通常清掃業務	常に清潔に努めた。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年２回実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年１１月３０日 ２回目　令和８年３月２日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用されることに努めた。
	書類・諸帳簿の管理	諸帳簿は適切に記録し、保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望の対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
42	397	274	3181	117	1220						

利用合計	回数	人数
	433	4798

（2）利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体と連絡調整を図り、利用効率の向上に心がけることができた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	56,796
収入　計（A＋B）			807,796
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	597,463
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	140,000
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	70,333
支出　計（C＋D＋E）			807,796
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

カーテン取り替え修繕で修繕費を予算オーバーしたが、他の管理費で支出を控えたため、全体の予算内で有効に予算を支出することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の方々が気持ちよく利用ができるよう、利用後の清掃等の協力を依頼し、清潔な環境づくりをすることができた。団体によっては、自主的に玄関周りの清掃等にも取り組んでいただいた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体と必要に応じ、連絡調整を図り、要望を把握することができた。登録団体以外にも随時利用申請があり、学区の各種活動に施設を有効に活用することができた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情はまったくなかった。室内時計の更新要望などにも適切の対応できた。Wi-Fi の設置は利用者のたいへん好評であった。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市細川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市細川町字長原１１１番地１
施設規模	敷地面積： 1,104.72㎡ 建物面積：383.23㎡
指定管理者	名　称：岡崎市細川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市細川町字長原１１１番地１ 代表者：委員代表　近藤勝男
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月１日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	諸団体・地域の日々最終使用後確認及び見周り等に異常がないか確認している。
	通常清掃業務	ホール・トイレ・玄関常に清潔状況を保ち消耗品は適切に補充しています。
	防火管理	年２回の消防署書類提出実施した。
	消防訓練実施日	1回目　3月4日 2回目　3月9日
施設運営に関する業務	利用関係業務	各諸団体・地縁団体利用者に利用調整及び理解活動を推進した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類の提出し市民ホーム・育成・こどもの家項目を分け適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望で市民ホーム育成のカーテン張替（破れ破損等が実施出来収支状況を心掛け運営と管理が出来た。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
206	1779	601	8421	60	400	35	247				

利用合計	回数	人数
	902	10，847

（2）利用状況に対する自己評価

毎月利用状況が分かりやすくボードに掲示し利用者に利用状況が一目で分かる様にし利用率の向上に心掛けた（利用者には変更内容・日時を早め1～2週間前に連絡する。備品の管理棚を設け一目で在庫が分かるようにした。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	828,995
収入　計（A＋B）			1,626,995
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	402,000 75,977
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	308.000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	841,018
支出　計（C＋D＋E）			1,626,995
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理会議室の机キャスター破損3個修理・育成カーテンの張替修理、修理費を活用して適切に費用を充て収支運営する事が出来た。事前にコクヨメーカーに備品発注済

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の使用後気がついた事は、諸団体・地縁団体にフィードバックし気持ち良く利用してもらえる様に清潔に保ち応えたい。

今後は、備品等破損したときに、申し出し易い雰囲気を更に諸団体と築いて行きたい。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

施設の備品修理購入費用に充て利用者の要望に対応

諸団体の各代表と話合い各団体と関係を深めて要望に対応

（3）苦情対応等に対する自己評価

利用者に日時や使用出来なくなった内容を諸団体・地縁団体に早めの連絡に心掛け対応する様　にしており諸団体・地縁団体の各団体の理解を今以上に推進する。

（※事業報告書と併せてご提出をお願いします。）

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作東学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市矢作町加護畑65番地1
施設規模	敷地面積：865.66㎡　　建物面積：357.89㎡
指定管理者	名　称：岡崎市矢作東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市矢作町加護畑65番1 代表者：委員代表　長友　泰朗
指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日

1　事業の実施状況

（1）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施工に異常がないか確認した。 設備（給湯器、ライト、机、椅子等）の保守実施
	通常清掃業務	館内外の大掃除を実施（年２回夏・冬）
	防火管理	常日頃から防火管理を徹底している。
	消防訓練実施日	1回目　7月27日 2回目　12月7日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けている。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（2）事業実施に対する自己評価

・倉庫に古い物が、たくさん置いてあり必要ないため処分した。

2　施設の利用状況

（1）利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
417	3,413	519	7,222	54	478						

利用合計	回数	人数
	990	11,113

（2）利用状況に対する自己評価

利用者からの苦情、要望を取り入れ安心、安全に利用していただけた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	1,717,506
収入　計（A＋B）			2,515,506
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	474,585
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	158,850
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	1,882,071
支出　計（C＋D＋E）			2,515,506
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

支出を十分抑え剰余金を積み立てることが出来た。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるように使用後の掃除等をするように呼びかけました。
二階　ホールの正面下の緑のクロスが汚いため張り替えたら明るくなり大変喜ばれました。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

年２回の清掃、避難訓練の日にちが良く分からないとの事でしたので詳しく説明しました。

（3）苦情対応等に対する自己評価

高齢者の利用者から椅子を増やして欲しいと言われましたので今年度に買うようにしました。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作北学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字牛転３５番地
施設規模	敷地面積：　1,167.05㎡　　建物面積：466.32㎡
指定管理者	名　称：岡崎市矢作北学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市橋目町字牛転３５番地 代表者：委員代表　小川　幸春
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常が無いか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年７月１３日 ２回目　令和８年２月２６日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
64	520	452	6708	41	227	25	182	257	2557	207	891

利用合計	回数	人数
	1046	11085

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに貼り付け、空き状況を分かりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	492,641
収入　計（A＋B）			1385,641
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	664,354
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	566,500
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	154,787
支出　計（C＋D＋E）			1385,641
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

施設や機器の利用に関して、分かりやすく記した書面を作成した。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

マナーやルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解をいただいた。

令和7年度　事業報告書

公の施設名称	岡崎市北野学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニケーション活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字家下1番地1
施設規模	敷地面積:1,048.00㎡　　建物面積:319.66㎡
指定管理者	名称:岡崎市北野学区市民ホーム運営委員会 所在地:岡崎市橋目町家下1番地1 代表者:委員代表　杉浦　由和
指定期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1　事業の実施状況

（1）　実施状況

業務期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設を見回り問題点、異常の無い事を確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品は適切に補充した。
	防火管理	必要書類の提出し、避難訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　令和7年　6月　7日(土) 2回目　令和7年12月　6日(土)
施設運営に関する業務	利用関係業務	予定表を表示し適切に利用調整を行い、利用者が効率的に使用できるように心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を期日までに提出し、適切に保管した。

（2）　事業実施に対する自己評価

利用者からの要望に適切に対処(周辺の草刈、網戸の修理・会議室の一部照明を蛍光灯からLED化、コロナ対応のアルコール液の設置等

2　施設の利用状況

（1）　利用状況

和　室		会議室		図書室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
373	3,139	328	4,631	315	1,480

利用回数	回数	人数
	1,016	9,250

（2） 利用状況に対する自己評価

各団体の利用者を予約表に記載し玄関ロビーに表示し、各部屋の空き状況を明確にしたことで、不定期利用者の利用率の向上を図った。又学区の総会、実行委員会等についても、譲り合いの精神で効率よく各部屋の使用を実施した。

3.収支状況

（1） 収支状況

1	項目	内訳	決済額（円）
収入	指定管理料収入（A）		798,000
	その他収入（B）		188,027
収入 計（A+B）			986,027
2	管理運営費（C）	人件費、管理費	515,226
支出	修繕費（D）	修繕費	331,647
	その他（E）	余剰金	139,154
支出 計			986,027
差 引			0

（2） 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入に関して適切に費用を充て収支運営をすることが出来た。
本年度も周辺の草刈及び定期清掃を実施した。
照明のLED化に伴う修繕費が超過したが、他の支出を精査することにより均等化を図ることが出来た。また、次年度も残り箇所のLEDと男子トイレのウオシュレット化を実施を予定しています。

4 その他自己評価

（1） 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者さまが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃の協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。日、土曜日に北野小学校PTA様の協力で市民ホーム清掃実施して頂き、利用者の利便を図った。

（2） 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用記録表に要望事項、不具合状況を記入してもらい、適切に修理等を実施した。
絶えず利用者とコミュニケーションを行いニーズ把握、こちらからの要望を伝えた。

（3） 苦情対応等に対する自己評価

ご意見等内容を把握し改善できる点は速やかに実施、無理な点は説明し理解を得た。
ルール違反、マナー違反者に対しては毅然とした対応を行った。
和室の清掃時の掃除機を充電式掃除機に変更し清掃しやすくした。
玄関に、手すりを付けてほしいとの要望があり、8年度に実施予定している

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大和町字西島５７番地１
施設規模	敷地面積：938.16㎡　　建物面積：481.32㎡
指定管理者	名　称：岡崎市矢作南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大和町字西島５７番地１ 代表者：委員代表　柵木　朗
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月１日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和７年８月20日 ２回目　令和８年２月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
68	771	352	4,234			44	382	286	4,129	242	1,270

利用合計	回数	人数
	992	10，786

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	50,422
収入　計（A+B）			943,422
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	756,205
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	152,220
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	34,997
支出　計（C+D+E）			943,422
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

本年度は障子洗浄・張替えや玄関ドア部品交換等を実施して修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより支出の均衡を図ることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

ご意見箱を設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、ご意見箱の設置等により利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市下青野町字井戸尻87番地１
施設規模	敷地面積：　1,549.00㎡　　建物面積：　422.00㎡
指定管理者	名　称：岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市下青野町字井戸尻87番地１ 代表者：委員代表　宮本　貞夫
指定期間	令和3年４月１日　～　令和8年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月1日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年２回実施した
	消防訓練実施日	１回目：令和７年　９月14日 ２回目：令和７年 11月15日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、実施の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や支出状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
209	3,234	316	4,547	0	0	126	916	336	3,323	0	0

利用合計	回数	人数
	987	12,020

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールをホワイトボートに明記した。
空き状況を分かりやすくして、利用率の向上に心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	25,015
収入　計（A＋B）			918,015
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	671,052
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	190,100
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	56,863
支出　計（C＋D＋E）			918,015
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、清潔な環境作りに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

苦情があれば、速やかに対応した。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市井内町字風見７番地３
施設規模	敷地面積：706.48㎡　　建物面積：318.08㎡
指定管理者	名　称：岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市井内町字風見７番地３ 代表者：委員代表　後藤　鉱一
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がかなか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	１回目　令和７年４月　５日 ２回目　令和７年９月13日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
205	1,512	635	11,150	228	1,404	0	0	0	0	0	0

利用合計	回数	人数
	1,068	14,066

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記して、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心がけた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	273,207
収入　計（A＋B）			1,071,207
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	585,649
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	136,279
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	349,279
支出　計（C＋D＋E）			1,071,207
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
自分たちでできる修理等は業者に頼らず自前で行ったため予算は超過したが、他の収支内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、施設や備品の利用に関して、わかりやすく表記した書面を作成し掲示をした。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解をいただいた。

令和7年度　事　業　報　告

公の施設名称	岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市赤渋町字道本23番地1
施設規模	敷地面積：1,328.00㎡　　建物面積：314.70㎡
指定管理者	名　称：岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市赤渋町字道本23番地1 代表者：委員代表　中沢　隆利
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1　事業の実施状況

（1）実施状況

業務期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないかを確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	火元責任者の表示を各部屋入口に添付した。 必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　令和7年10月17日 2回目　令和8年 2月15日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（2）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

2　施設の利用状況

（1）利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研究室（大）		研究室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
123	1135	814	10,943	246	2,721						

利用合計	回数	人数
	1,183	14,799

（2）利用状況に対する自己評価

・運営委員会と利用団体との定期会議を実施し、使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。

・利用スケジュールを玄関のホワイトボードに明記し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

3 収支状況

（1）収支状況

	項　目	内　訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入（A）		798,000
	その他収入（B）	雑収入	250,216
収　入　計（A+B）			1,048,216
支出	管理運営費（C）	人件費、管理費	594,732
	修繕費（D）	修繕費　※精算項目	77,000
	その他（E）	修繕費返還金、当期剰余金等	376,484
支　出　計（C+D+E）			1,048,216
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品・消耗品の購入等に、適切に費用を充て収支運営することができた。

・本年度は、駐車場入り口ポールが破損したため、取替交換を実施した。

4 その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、毎朝パブリックスペースの清掃等、清潔な環境づくりに務めた。

・合言葉「利用する前よりもきれいにして帰る」

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・ご意見箱を設置して、ニーズ把握を心掛けた。

・利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・今のところ苦情はないが、会議、ご意見箱の設置等により、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないように適正な管理運営を心掛けたい。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市中島東町二丁目５番地１
施設規模	敷地面積：417.00㎡　　建物面積：315.46㎡
指定管理者	名　称：岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市中島東町二丁目５番地１ 代表者：委員代表　山口　廣海
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品等は適切補充した （原則週２回　火/金曜日 実施）
	防火管理	必要書類を提出し、法定消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	１回目　令和７年　８月30日 ２回目　令和７年12月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切の保管している

（２）事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、機材充実と円滑な運営と管理ができた
・老朽化した畳の表替え(南側)の実施及び災害時避難施設としての機材及び備蓄等に努めた

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
122	1336	481	4696	324	1399						

利用合計	回数	人数
	927	7431

（2）利用状況に対する自己評価

・公的利用団体の年間事前利用予約を受け付け、一般団体との利用調整をはかることで利用予約の円滑な調整ができた
・利用スケージュールボードに、必要に応じて利用開始時間や終了予定時間を記載して円滑な利用調整ができた

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	140,728
収入　計（A＋B）			938,728
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	755,763
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	152,800
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	30,165
支出　計（C＋D＋E）			938,728
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・施設修繕、事務用品及び会議用機材並びに避難所施設に対応する資材/機材等に費用を充て収支運営をはかることができた

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用登録団体に対して連絡会を開催し、施設の適切な利用に関する事項の説明等を行った

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者と可能な限りコミュニケーションに努め、ニーズ把握を心掛けた

（3）苦情対応等に対する自己評価

・駐車場の目的外利用の(夜間見回り等も含め)排除に努めた
・目立った苦情はなかったが、今後のも適正な管理運営に心掛けたい

（※事業報告書と併せてご提出をお願いします。）

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市豊富学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市樫山町字山ノ神１０番地１
施設規模	敷地面積： 1,450.00㎡　　建物面積： 718.16㎡
指定管理者	名　称：岡崎市豊富学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市樫山町字山ノ神１０番地１ 代表者：委員代表　鈴木　勝彦
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	１回目　令和８年２月22日 ２回目　令和８年３月21日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

（利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。）

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		会議室		図書室（録音）		和室２		研修室（大）		研修室（小）	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
144	1327	744	10587	9	49						

利用合計	回数	人数
	897	11,933

（2）利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施。使用日時の確認は勿論、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上に心掛けた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	97,872
収入　計（A＋B）			990,872
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	776,628
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	0
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	214,244
支出　計（C＋D＋E）			990,872
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

事務用品等の購入に適切に費用を充て、収支運営をすることができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者がお互いに気持ちよく利用できるよう、使用後の適切な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

ご意見箱を設置して、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、利用者とのコミュニケーションを密にして適正な管理運営に心掛けた。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市宮崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市宮崎町字亀穴３３番地
施設規模	敷地面積： 1,036.24㎡ 建物面積： 275.62㎡
指定管理者	名　称：岡崎市宮崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市宮崎町字亀穴３３番地 代表者：委員代表　真木　保彦
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況

業務期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設が適正に利用されているか、巡回見回りをし異常の有無を点検確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保つよう定期的に清掃を実施。 また、関係する消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施（年２回）した。
	防火訓練実施日	１回目　令和７年１０月２４日 ２回目　令和８年　３月　７日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管管理している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者・利用団体の要望への対応や、収支状況の把握に心掛け、円滑な管理運営ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		中会議室		図書室		和室２		大会議室		小会議室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
―	―	198	1,429	―	―	―	―	398	5,256	27	144

	回数	人数
利用合計	623	6,829

（2）利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関のボードに明示した。
・空き状況を判りやすく開示し、利用率の向上を心掛けた。
・新型コロナは5類に移行したが、コロナ・インフルエンザ対策として消毒液を準備し手の消毒、マスク着用等をお願いし協力してもらえた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	422,325
収入　計（A＋B）			1,173,325
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	485,850
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	0
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	687,475
支出　計（C＋D＋E）			1,173,325
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

・人件費、事務費、管理費は適正に収支運営することができた。
・コピー機に係るランニングコストが高いため、プリンターを設置し経費の節約に努めている。
・施設が新しく、利用者が大切に使用しているため修繕費の発生はない。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者の皆さんが気持よく利用できるよう、使用後の清掃が習慣化できるよう協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
・不審者対策等の強化のため、夜間における市民ホーム利用中に玄関を施錠し、呼び出しチャイムを設置したことで、安心して夜間の利用ができる環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

・利用者からの要望・苦情等には、その都度現地にて実情を把握し、改善できる範囲に於いて速やかに対応した。

令和７年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市形埜学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桜形字福塚３番地
施設規模	敷地面積：２５７０．４７㎡　　建物面積：２９９．５８㎡
指定管理者	名　称：岡崎市形埜学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市桜形町字福塚３番地 代表者：委員代表　荻野　保夫
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月31日

１　事業の実施状況

（１）実施状況　　業務期間：令和７年4月１日～令和８年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	通報訓練・防災訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目　11月30日 2回目　12月23日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、利用が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

（２）事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営・管理ができた。

２　施設の利用状況

（１）利用状況

和室		大会議室		図書室		和室２		会議室１		会議室２、３	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
		266	3248					211	1681	25	190

利用合計	回数	人数
	502	5119

（2）利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記、空き状況をわかりやすくして
利用の向上に努めた。

3　収支状況

（1）収支状況

	項目	内訳	決算額（円）
収入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	238,637
収入　計（A＋B）			989,637
支出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	523,322
	修繕費 (D)	修繕費　※精算項目	100,870
	その他 (E)	修繕費返還金、当期剰余金等	365,445
支出　計（C＋D＋E）			989,637
差　引			0

（2）収支状況に対する自己評価

施設の修理・事務用品の購入等に適切に費用を当て、収支運営することができた。

4　その他自己評価

（1）利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう使用後の清掃への協力を呼びかけ、
清潔な環境づくりに努めた。

（2）利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

（3）苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はない。
今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和７年度　事業報告書

公の施設名称	岡崎市下山学区市民ホーム
施設の設置目的 役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市保久町字中村 72 番地 1
施設規模	敷地面積：1,241.21㎡　建物面積：254.07㎡
指定管理者	名　称：岡崎市下山学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市保久町字中村 72 番地 1 代表者：委員代表　山田　正直
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月 31 日

1　事業の実施状況

実施状況

業務機関：令和７年４月１日～令和８年３月 31 日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	事務長による施設の保守点検の実施 者による保守管理
	通常清掃業務	事務長による 学区内老人クラブへ業務委託
	防火管理	防火管理者（事務長）による施設内防火管理業務
	消防訓練実施日	１回目　10 月８日 ２回目　３月８日
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用者は利用簿（備付）に記入 年間利用予定の管理（事務長）
	書類・諸帳簿の管理	事務長により管理

(2) 事業実施に対する自己評価

施設の環境保持に努め，滞りなく事業を実施できた。

2　施設の利用状況

(1) 利用状況

	和　室 (山側2間)		会議室 (大広間)		図書室 (山側会議室)		計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	10	167	1	5	11	172
5月	0	0	3	45	0	0	3	45
6月	0	0	4	68	0	0	4	68
7月	0	0	5	95	2	12	7	107
8月	0	0	1	28	1	4	2	32
9月	0	0	3	41	1	9	4	50
10月	0	0	2	14	1	4	3	18
11月	0	0	2	14	0	0	2	14
12月	0	0	2	37	0	0	2	37
1月	0	0	4	68	1	1	5	69
2月	0	0	1	7	0	0	1	7
3月	0	0	4	129	2	9	6	138
計	0	0	41	713	9	44	50	757

(2) 利用状況に対する自己評価

・月毎の利用予定を事務室掲示板並びに、事務長宅備え付けの利用予定表にて施設利用希望者並びに利用予定の迅速な受け入れを心がけた。

3　収支状況

(1) 収支状況

	項　目	内　訳	決算額(円)
収入	指定管理料収入(A)		751,000-
	その他収入(B)	雑収入	281-
収入　計(A+B)			751,281-
支出	管理運営費(C)	人件費,管理費	484,265-
	修繕費(D)	修繕費　※清算項目	103,950-
	その他(E)	修繕費返還金、当期剰余金等	163,066-
支出　計(C+D+E)			751,281-
差　引			0-

(2) 収支状況に対する自己評価

人件費及び管理費並びに修繕費について満遍なくバランス良く支弁することができた。

修繕費について…水屋蛇口修理

建物内扉作り替え（２か所）

4　その他自己評価

- 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の要望する物品の購入をはじめ、施設利用管理も滞りなくできている。

これまで定期的に利用されていた方々が，高齢及び病気等により施設の利用数が激減している。当学区内には当施設以外にも複数の利用施設が存在することから，当施設の更なる利用促進が課題となっている。

- 利用者のニーズ把握に対する自己評価

人口の少ない学区であるが故に、利用者と事務長間でのコンセンサス保持に努めていることから利用者からのニーズは迅速に把握する環境を整えることができている。

- 苦情対応等に対する自己評価

苦情は見受けられないため、特になし。